

# 横浜市藤棚地域ケアプラザ 指定管理プレゼンテーション



応募団体 理事長の坂本です。

所長の小林です。

生活支援コーディネーターの志田です。

よろしくお願いいたします。

「様式2 事業計画書」の内容のうち、直接面接でご説明したい事項をまとめました。

## 1 運営ビジョン (1) 担当地域の特色 (地域ケアプラザの周辺状況)

# 横浜市藤棚地域 ケアプラザエリア

### 地域の特性

- 歴史ある町
- 西区の中心で交通の便がよい
- 山坂が多く高齢になっても健脚の方が多い



はじめに、私たちが担当させていただいている、  
浜松町・藤棚町・久保町・東久保町・元久保町・境之谷の6つの  
地域について  
藤棚地域ケアプラザとして捉えている地域の特性をご説明いたします。

藤棚商店街では高齢の方が買い物をするために歩いている姿をよく見かけます。高齢化率も区内で一番高い約26%です。  
商店街からは急な山坂も続き、地域には歴史ある墓地をはじめ、昔は市電も走っていました。

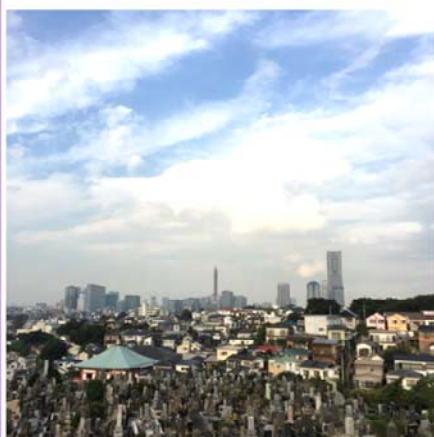
現在はバスや相鉄で横浜駅に出るにはとても便利な街です。

## 1 運営ビジョン (2) 担当地域の特色 (地域の魅力)

# この地域の魅力

### 歴史ある町

久保山墓地から見た風景



### 福祉施設が多い

7つの障害施設



### 地域のつながり

境之谷公園



3

さてこの地域の魅力を具体的にお伝えします。

一つ目に、向かって左の写真は久保山墓地から見た景色です。この墓地には、歴史上の人物も眠っています。そして近くには、藤棚商店会、サンモール西横浜商店会、久保町にここ商店街があります。

二つ目に、真ん中の写真、福祉施設が多いことも特色です。ケアプラザ以外に障害の施設が7か所、日頃から相談をしたり、一緒にお祭りを盛り上げたりの関係づくりができています。

三つ目として地域のつながりがとても深いことです。都会ですが、つながりがあり、地縁があります。地域の子どもたちを地域で見守る体制作りがされています。この右側の写真は境之谷公園の焼き芋大会の様子です。

地域の方が、「住み続けたい」と言っている声を、よく聞きます。盆踊りに幼馴染、小さい時にご近所のおじさんおばさんに親切にされたから、大きくなった今地域の子どもたちに恩返しをしたいと話されているボランティアの方もいます。

## 地域の皆様と目指していること



### 〈第3地区 地区別計画〉

- 1 福祉施設が多いこの地区の特徴を活かして、子どもから高齢者までさまざまな人がふれあうきっかけをつくる
- 2 山坂が多い地形でも地域の誰もが外出しやすいきっかけをつくる



地域と想いを一つに、

西区地域福祉保健計画の地区別計画を目標に取り組んでいます。

第3地区では、子どもから高齢者まで様々な人が触れ合う

きっかけづくりとして、福祉施設と地域と共に、ふれあい春まつり、

福祉フェスタを開催しています。

後ほど、第3地区の具体的な取組について、ご説明します。

# 地域の皆様と目指していること

〈第4地区 地区別計画〉

第4地区を誰もがずーっと住み続けたい温かいふれあいのあるまちへ



第4地区では各自治会町内会そして自治会連合会、  
地区社会福祉協議会がそれぞれ個人のできる事が広がるような  
地区別計画を考えられました。

地区社会福祉協議会が福祉活動の中心としてとても活発に  
活動されています。

ケアプラザとしてもその活動を応援しています。

## わたしたちの心構え

- 1 地域に積極的に出向いていきます
- 2 課題にはチームで取り組みます
- 3 何でもお気軽にご相談ください
- 4 全力で、課題解決に努めます



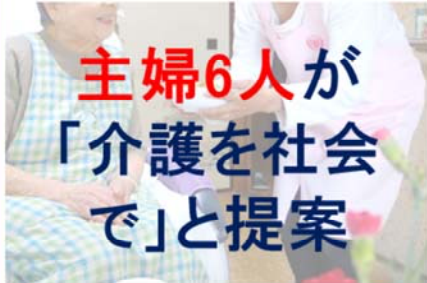
これらの地域の目標を達成するために、ケアプラザとしての心構えをお伝えします。

出前講座をしたり、シニアクラブに楽しく人が集まるように一緒に工夫をさせていただいています。

山坂があるからこそ地域の皆様と課題共有をして「おでかけ3」にも繋がりました。

常日頃から地域の課題をケアプラザ内だけでなく地域の福祉施設などと共有をして取り組んでいきます。

## 横浜市民と共に歩む団体



昭和50年4月  
ボランティアとして  
出発



昭和59年12月  
財団法人  
設立



平成9年1月  
社会福祉法人  
設立

**「できるコト、まだまだ。」合言葉**

次に団体の状況についてです。

当団体は、

- 高齢者の介護問題に関心を持った6人の主婦が「介護を社会で」という想いに突き動かされ、ボランティアとして出発
- 昭和59年には、横浜市と協力して、財団法人を設立
- 平成9年には、地域ケアプラザや老人ホーム運営のため、社会福祉法人となりました。

今日では、約4,300人の職員を擁する組織となりましたが、「できるコト、まだまだ。」を合言葉に地域の皆様とともに様々な課題解決に取り組んでいます。

## 団体の理念

お客様の  
満足



人を大切にし  
共に育ちあう  
風土



公正で  
透明感のある  
倫理



団体の理念はこちらの3点です。



## 2 団体の状況

# 団体の理念 **お客様の満足** お客様ファースト



**お客様相談室**

一般公開講座  
あまたつ  
天気の達人 天達と考える  
「地球の今と  
災害対策」  
～多発する災害への備えとは～  
あまたつ たけし  
天達 武史 氏 講演会  
今年度の公開講座は、テレビのお天気キャスターとしてもおなじみの気象予報士 天達武史さんをお招きします。  
各地で多発する「異常気象」や「地球温暖化」について不安が高まる中、『天気の達人』に、天気の予報の土手な移り方、災害対策など、お天気に関

9月25日(水)  
14時00分開場  
14:30~16:30

**市民公開講座**

お客様にご満足いただけるよう

- お客様の直接相談やご意見をお受けする「お客様相談室」の設置
- 一般の方も参加できる市民公開講座の開催
- 災害時に備えた、事業継続計画の策定

も行っていきます。

## 2 団体の状況

団体の理念  
**共 育**

人を大切にし共に育ちあう風土



ふれあい  
110番



**表彰制度**

- ・詐欺未然防止
- ・子ども虐待防止活動の継続と周知 等  
(平成30年度下半期表彰事例)

職員の心身の健康への配慮として、

- 業務上の悩みなどを相談できる電話相談室「ふれあい110番」の設置
- 平成31年4月には「横浜健康経営 クラスA」の取得
- 職員表彰制度を設ける

など、職員が高いモチベーションを持って業務に取り組めるように努めています。

## 2 団体の状況

団体の理念

公正で透明感のある倫理

ワンチーム

—各事業所・本部のワンチーム—

地域ケア  
プラザ

小規模多機能  
型居宅介護

介護  
事務所

老人  
ホーム

団体本部

コンプライアンス  
推進課

サービス  
向上課

地域ケア  
推進課

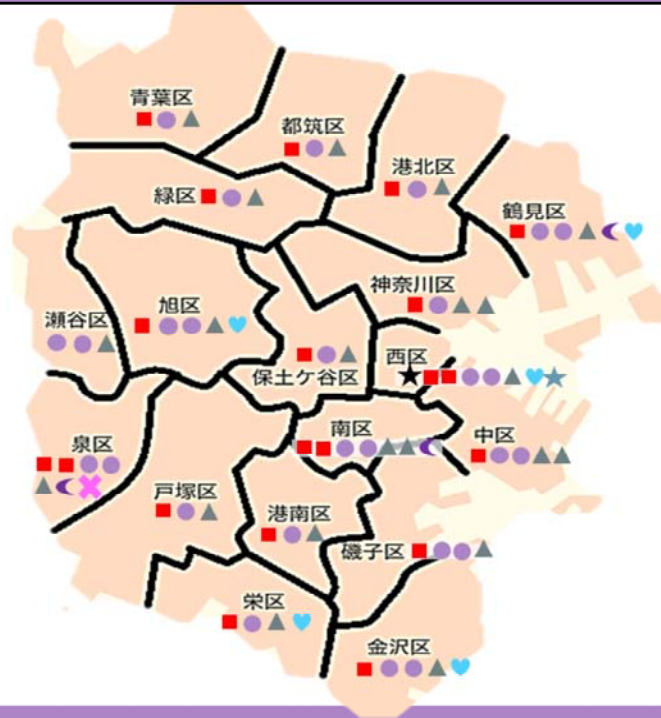
研修センター  
等

業務の透明性の確保、適正な運営、職員間の情報共有など、各事業所を法人本部がバックアップするワンチーム体制があります。

### 3 職員配置及び育成

## 市内全域でサービスの提供

- ① 本部(★)
- ② 地域ケアプラザ(■) 20館
- ③ 訪問介護事務所(●) 27事業所
- ④ 居宅介護支援事業所(▲) 21事業所
- ⑤ 老人ホーム(◐) 3館
- ④ 訪問看護(♥) 5事業所
- ⑥ 福祉用具事業所(★)
- ⑦ 小規模多機能型居宅介護(✕)



当団体は、市内全域で20館の地域ケアプラザの運営を行うなど、各区に事業所を設け、様々な福祉サービスを提供していることから、経験を積んだ多くの介護・福祉資格を有する職員がいるスケールメリットを活かし、専門性のある職員配置をしています。

# 人財育成に力を注いでいます！



4<sup>F</sup>

研修センター

## 職員の声を踏まえた研修

管理職が委員となり、現場の意見を聞き、  
研修内容を検討



団体の法人本部ビル内に研修センターを設置しています。

### <参考資料>

平成30年度研修実績

総実施件数：45回

延べ実施回数：100回

延べ参加人数：3,135人（一般公開講座参加者を含む

<公開講座参加者150名>）

# 人財育成に力を注いでいます！



**採用前**

インターン  
シップ



**採用時**

採用時研修



**採用後**

フォローアップ  
3ヶ月・1年・2年



**階層別/課題別**

**職種別**

資格取得支援



**研修受講費負担制度(パート・正規職員)**

人財育成に力を注いでおり、平成30年度は45種類の研修に延べ2,900人の職員が参加し、スキルアップに努めました。

# これまでの地域の皆様との取組 ～移動支援バス『おでかけ3』～



地域による  
地域のための  
地域のバス



それでは、これまでの地域の皆様との取り組んできました事業の一例として、移動支援バス「おでかけ3」についてご紹介します。これは地域の方を中心に、障害者施設と藤棚地域ケアプラザが一丸となって取り組ませていただいている事業です。

## 移動支援バス『おでかけ3』のはじまり



### アンケート調査

- 平成28年9月  
**シニアクラブ会員向け**  
アンケート実施
- 平成29年10月  
**要支援1・2、事業対象者向け**  
アンケート実施



16

この事業の始まりは

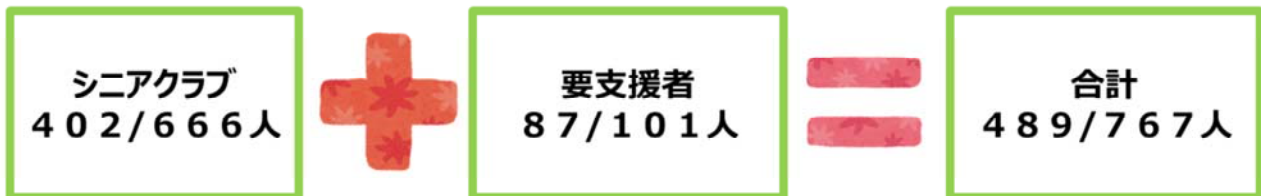
まず、第3地区での、「山坂が多い地形でも地域の誰もが外出しやすいきっかけを作る」という具体的な目標でした。

この目標の達成を目指している平成28年度に、地域ケアプラザに生活支援コーディネーターの配置があり、その年から、生活支援コーディネーターが中心となって、シニアクラブ会員向けのアンケートと要支援1・2の方、事業対象者向けのアンケートを実施いたしました。

回答数も多く、アンケートへの協力をしていただける理解と協力のある地域だと感じました。



## アンケートの結果



- 山・坂・階段が多く、坂の上と下の地域をつなぐ交通機関が少ないため、買い物など自立した日常生活が困難
- 高齢者が集まれる場が少ない
- 若い人は皆勤めているため、町内に出てこられない
- 高齢者の多くが、支援が必要な人への支援をしたいと思っているが、難しい状況

37

アンケート結果では、シニアクラブ666人中402人、  
要支援の方101人中87人の回答がありました。

その中で、山・坂・階段が多く、坂の上と下の地域をつなぐ交通機関が  
少ないため、買い物など自立した日常生活が困難と回答した方が  
7割いらっしゃいました。

## アンケートの結果の共有

地域の方が広く参加

実行委員会発足



〈アンケート結果報告会〉  
平成28年度(1回)  
平成29年度(3回)  
計4回



〈検討会  
(グループワーク) 開催〉  
地域課題について  
検討と共有

ふれあい春まつりで  
バスを走らせよう



〈定例会議開催〉  
平成30年度4月～現在  
毎月1回以上

18

そこで、地域の方に広く、アンケート結果をご報告し、課題の検討と共有のため、検討会を開催しました。

そこで、地域の方からの「山・坂・階段が多いため買い物に苦労している」という意見を元に、

まず、地域の「ふれあい春まつり」でバスを走らせてみよう、という意見が出されました。

このことをきっかけに、移動支援について考える実行委員会が立ち上がりました。

実行委員会は、毎月1回以上、定例的に開催し、その中で、地域のお祭りである「ふれあい春まつり」の時にバスを走らせる計画を詰めていきました。

# ふれあい春まつり 試行運転



- 10:20～14:30の間
- 全20便 / 計35名 乗車

## 当日の様子



県営藤棚アパート自治会館



池ノ上公園北口

第3地区 ふれあい春まつり  
平成30年5月20日(日)  
あでかけ 試行運転  
のお知らせ

あでかけとは...?  
「はま、瀬、山」の3地区・水辺を走る新に、移動するお祭りがない、という  
地域のみなさまからご要望いただいたお祭り開催です。  
5月20日(日)にふれあい春まつりとして、お祭り参加の乗車をさせていただきます。

ルート、時間、本数は変更になる可能性があります。  
是非、たくさんの方のご乗車、お待ちしております！

○料金について **無料** ※今回はご乗車ののみま  
が家とさせていただきます。

○先着 7名 ○車椅子の方も利用可能 ○雨天中止

バス	ふれあい春まつり (県営藤棚アパート)	ふれあい春まつり (池ノ上公園北口)	ふれあい春まつり (池ノ上公園北口)
10時	10:20	10:30	10:40
11時	11:20	11:30	11:40
12時	12:20	12:30	12:40
13時	13:20	13:30	13:40

【お問い合わせ】 横浜市藤棚地区ケアプラザ 電話 045-253-0061  
 (住所) 藤棚2-1-98 (電話) 045-253-0061  
 生活福祉交際中心 電話 045-253-0061  
 (住所) 藤棚2-1-40 (電話) 045-253-0061

運行チャリシ

話し合いを重ね、足りない部分はあるものの、平成30年5月20日「ふれあい春まつり」での試行運転を迎えることができました。

こちらの写真が当日の様子です。

全20便が走り、35名の方が乗車されました。

利用されたご高齢の方からは、「山の上はお年寄りが多いです。このバスが実現すると有難い方はたくさんいると思います。」という声や

小さなお子様連れのお母さんからも、「子どもを2人連れて出かけるのは大変。バスがあると助かります。」というお話も聞きました。

## 平成31年4月3日 本格運行

### 内容

- **週2日(水・金)** 10:00~15:00 運行
- 「**生活創造空間にし(障害施設)**」から  
車両とドライバーを提供
- **添乗員ボランティア**1人同乗
- **藤棚商店街を中心に**  
**県営藤棚アパート・聖隷横浜病院を巡回**
- 各停留所から乗車/ルート内なら自由に降車
- 子ども・高齢者・障害者、**どなたでも利用可能**

### 出発式の様子



お祭りの後も実行委員会で検討を重ね、平成30年9月末から継続的な試行運行をスタートし、平成31年4月に本格運行となりました。

運行しながら、ルール作りも行いました。

まず、運行は週2日・水曜と金曜日、概ね10時から15時まで、車両とドライバーは、障害施設の「生活創造空間にし」より提供していただきました。

添乗員ボランティアが必ず1名同乗します。

## 5 事業 (3)生活支援体制整備事業

# 運行の様子

### YouTube



### おでかけ3だより



### タウンニュース



21

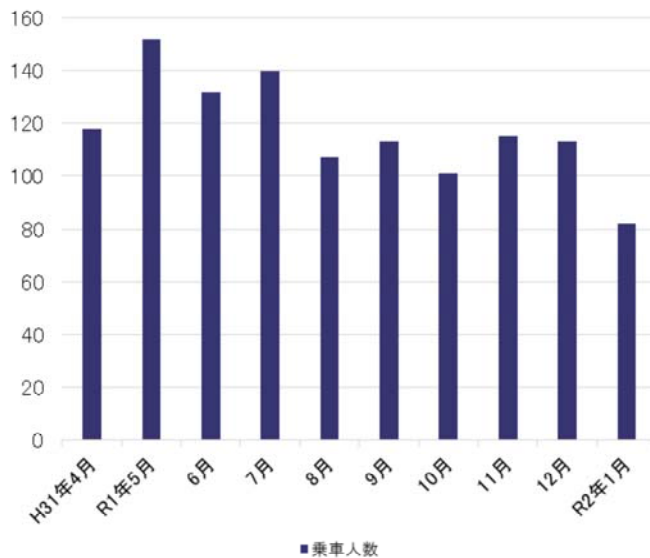
「おでかけ3」の、初めの目的は「移動すること」だけでしたが  
今では、車の中で会話や笑顔が生まれています。

実際の運行の様子については

横浜市の公式チャンネル（CityOfYokohama）からの動画や  
適宜発行している「おでかけ3だより」等でご紹介しています。

## 5 事業 (3)生活支援体制整備事業

### 『おでかけ3』利用者数



- 〈利用人数〉(2019.4~2020.1) 延べ1,173人
- 〈月平均〉(2019.4~2020.1) 延べ117.3人
- 〈1日平均〉(2019.4~2020.1) 延べ14人

#### 〈利用者増加のための取組〉

- 口コミ
- 独自の広報誌
- YouTubeの活用
- 募金箱の設置
- 聖隷横浜病院との連携
- 利用者の声を反映

次に、「おでかけ3」の利用者数についてご報告いたします。

本格運行を開始した平成31年4月から令和2年1月までの集計ですが、

延べ1,173人が利用しています。

月平均は約117人です。

一番乗車人数が多かった月が令和元年5月で 延べ152人でした。

利用人数は、暑さ寒さ、雨雪などにも大きく左右されます。

それでも、継続して運行していけるように、「おでかけ3」の利用者を増やすために、実行委員が積極的にお誘いいただいたり、「おでかけ3だより」などの広報誌を掲示板や回覧板で配布しています。

また、添乗員ボランティアが利用者から聞き取ったことを運行に反映させています。

今年度からは、利用者からの要望にお応えして、バス停留所を一つ増やしています。

## 私たち藤棚地域ケアプラザができること①

### 事業が継続するために

- **会議の調整と運営**のお手伝いをします。
- **新たな団体**と「おでかけ3」が**繋がれる**ように橋渡しをします。
- ケアプラザに寄せられる**個別の相談**から、「おでかけ3」に求められていることを実行委員会と**共有**します。
- 地域の方の「やりたいこと」が実現できるように様々なことを**提案**させていただきます。



地域ケアプラザとして、今までも、そしてこれからも継続して

会議がスムーズに進行できるように調整や運営のお手伝いをしていきます。

さまざまな周知活動をすることで、事業の認知度を上げ、

今まで無関心だった方にも

「これは利用しなければもったいない」「この事業に是非参加したい」と  
思っただけのように事業の価値を高めていきたいと思いを。

これが出来たら楽しい・面白いという提案を行い、

地域のみなさまの「やってみたい」を応援していきたいと思いを。

## 私たち藤棚地域ケアプラザができること②

### 事業の価値を高めるために

- 独自の広報誌「**おでかけ3だより**」を作成・発行します。  
(2020年3月現在9号まで発行済)
- メディア**(タウンニュース・新聞社・インターネット等)へ「おでかけ3」の活動を取り上げてもらえるように働きかけます。
- 「出来たら助かる」「出来たら楽しい」を皆さまと**一緒に考えさせて**いただきます。



私たちはこの事業の価値を高めていくことで、「おでかけ3」の関係者が  
増え、活動が更に広がっていくと考えます。

具体的には

- 地域の皆様に周知され、関心を持っていただけるように独自の  
広報誌「おでかけ3だより」の発行を継続していきます。
- 「おでかけ3」が更に認知してもらえるようにメディアにも働きかけて  
いきます。
- 皆様の出来たら助かる、出来たら楽しいを一緒に考えさせて  
いただきます。



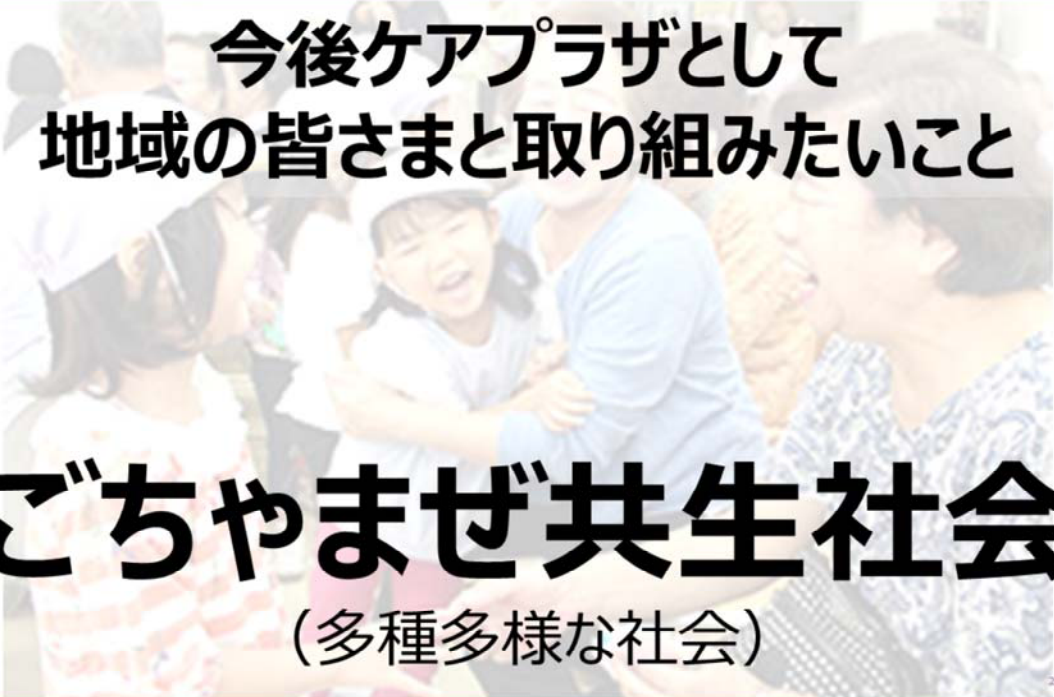
## 移動支援バス『おでかけ3』のこれから



「おでかけ3」にこれから期待することがあります。

平成30年、「おでかけ3」実行委員会が立ち上がってから、「おでかけ3」をきっかけとして、藤棚商店街や聖隷横浜病院、稲荷台小学校などと更に関りが深まりました。

人と人、人とまちをつなげる「おでかけ3」がさらに地域の方の中に浸透することで人とのつながりや人への優しさが、さらにこの地域に広がっていくことを期待します。



今後ケアプラザとして  
地域の皆さまと取り組みたいこと

# ごちゃまぜ共生社会

(多種多様な社会)

26

ケアプラザとして、今後地域の皆様と取り組みたいことは

高齢者も障害者も子どもも、分け隔てなく関わり  
共に地域を作って行けるような町になりますよう、・・・

あらたな居場所づくり

担い手発掘（地域を作る仲間づくり）

地域愛を育むお手伝い

そして、多種多様な社会・・・まさに「ごちゃまぜ共生社会」を目指して  
取り組んでいきます。

**今後も、地域の皆さまと、  
ともに歩んでいきたいと願っています。**



**ご清聴、ありがとうございました。**

27

最後になりますが、今後も地域の皆様とともに歩んでいきたいと願っています。

「できるコト、まだまだ。」

ご清聴ありがとうございました。